

映画制作の秘話を紹介

大津で教室「キクとイサム」上映も



制作秘話を語る角沙門さんと奥之山ジョージさん
（右）＝大津市浜町の大津アレックスシネマで

大津市浜町の「大津アレックスシネマ」で二十二日、映画教室があり、約七十人が制作秘話に耳を傾けたり映画観賞をしたりした。

滋賀会館シネマホールの佐藤英明前代表が「デジタル時代の映画の見方」をテーマに講演。続いて、草津市の元映画館主、故角正太郎さんが一九五九年に制作した「キクとイサ

ム」で、撮影に携わった角沙門さんと出演した奥之山ジョージさんが当時を振り返り「監督から電柱をどかせと言われ看板を置いて隠した」といった当時の苦勞話を披露した。

福島県を舞台にアメリカ人と日本人との間に生まれた子どもを描いたこの映画を観賞して教室を締めくくった。（安永陽祐）